

愛媛県（平成26年度）

この記念貨幣は、「築120周年を迎える道後温泉本館とえひめの美しいしまなみ」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、道後温泉の象徴とされる道後温泉本館と愛媛県の代表的な特産品であるみかんをデザインしています。

※道後温泉本館

松山市内にある道後温泉は、3千年を超える歴史を持つと言われ、日本最古の温泉として全国に知られている。その道後温泉の象徴とされる道後温泉本館は、1894年（明治27年）に建造され、建築100周年に当たる平成6年に国の重要文化財に指定された。また、夏目漱石の小説「坊ちゃん」に取り上げられたことでも知られている。

※みかん

愛媛県は、日本有数のみかんの産地として知られており、かんきつ類全体で、全国第一位の生産量（約22万トン）となっている。なお、みかんの花は愛媛県の県花とされている。

山形県（平成26年度）

この記念貨幣は、「日本人の心のふるさと美しい山形」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、山形県を流れる一級河川である最上川と山形県の代表的な特産品であるさくらんぼをデザインしています。

※最上川：全長229 kmの一級河川。江戸時代には、河口にある酒田湊で日本海海運と結びつき、内陸部の主要産品の米や紅花等を京都や大阪へもたらすなど、古くから県民の生活・文化を支えてきている。また、日本屈指の急流とされ、松尾芭蕉の俳句「五月雨をあつめて早し最上川」でも有名。

※さくらんぼ：バラ科サクラ属の果樹であるミザクラの果実。現在、山形県が全国生産量の約7割（約13,200トン：平成24年農林水産省統計）を占めており、国内で最も多く生産されている「佐藤錦」は県内で交配育成された品種。また、山形県の「県の木」にも選定されている。

三重県（平成26年度）

この記念貨幣は、「日本人の心のふるさと伊勢、熊野」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、三重県伊勢市を流れる一級河川である五十鈴川と五十鈴川に架けられた伊勢神宮宇治橋をデザインしています。

※五十鈴川

伊勢神宮（内宮）の西端を流れる五十鈴川は、古くから数多くの和歌に歌われてきた清流。自然公園法に基づき、1946年（昭和21年）に指定された伊勢志摩国立公園内にあり、周辺一帯は同公園を代表する景勝地の一つ。

※伊勢神宮宇治橋：五十鈴川に架けられた木造の橋。伊勢神宮（内宮）の参道口にあり、20年に一度行われる神宮式年遷宮に先駆けて、20年ごとに架け替えられる。